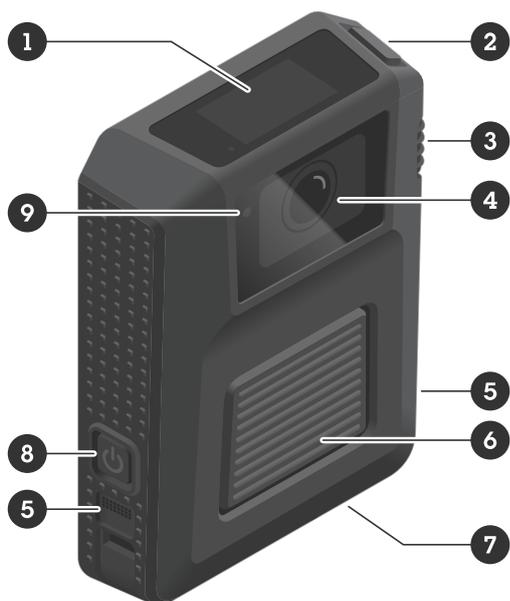


AXIS W102 Body Worn Camera

Axis装着式ソリューション

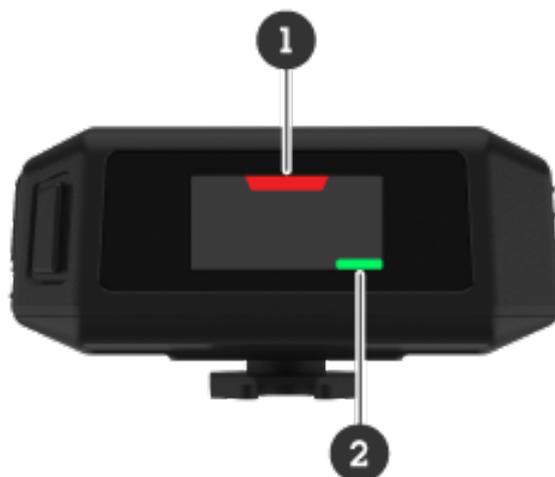
Axis装着式ソリューション全体の詳しい説明については、Axis装着式ユーザーマニュアルを参照してください。

製品概要



- 1 ディスプレイ
- 2 トップボタン
- 3 機能ボタン
- 4 カメラレンズ
- 5 マイクロフォン (x2)
- 6 録画ボタン
- 7 USBコネクター
- 8 電源ボタン
- 9 フロント録画インジケータ

ディスプレイ



1	録画LED	カメラが録画しているときは、赤色に点灯。
2	ステータスLED	カメラが使用または録画の準備が整った状態にあるとき、緑色に点灯。 カメラが録画できないとき、黄色に点灯。

ドッキング時のアイコン	説明
	カメラがドッキングされています。
  	バッテリーが充電中です。 充電残量によって色が異なります。 進行状況バーおよび充電レベル (パーセント) と組み合わせられます。
	ユーザーがカメラに割り当てられています。
	カメラのソフトウェアのアップグレードが進行中です。進行状況バーと組み合わせられます。
	コンテンツ送信先へのデータ転送が進行中です。進行状況バーと組み合わせられます。

操作中のアイコン	説明
	ユーザーがカメラに割り当てられていません。
  	バッテリーの充電レベル。 充電残量によって色が異なります。
	バッテリーがUSBコネクタを通して充電中です。
  	使用されているローカルストレージの容量。 空きストレージ容量によって色が異なります。
 	ホルスターセンサー接続。 <ul style="list-style-type: none"> 白 = ペアリング中。 緑 = 接続完了。

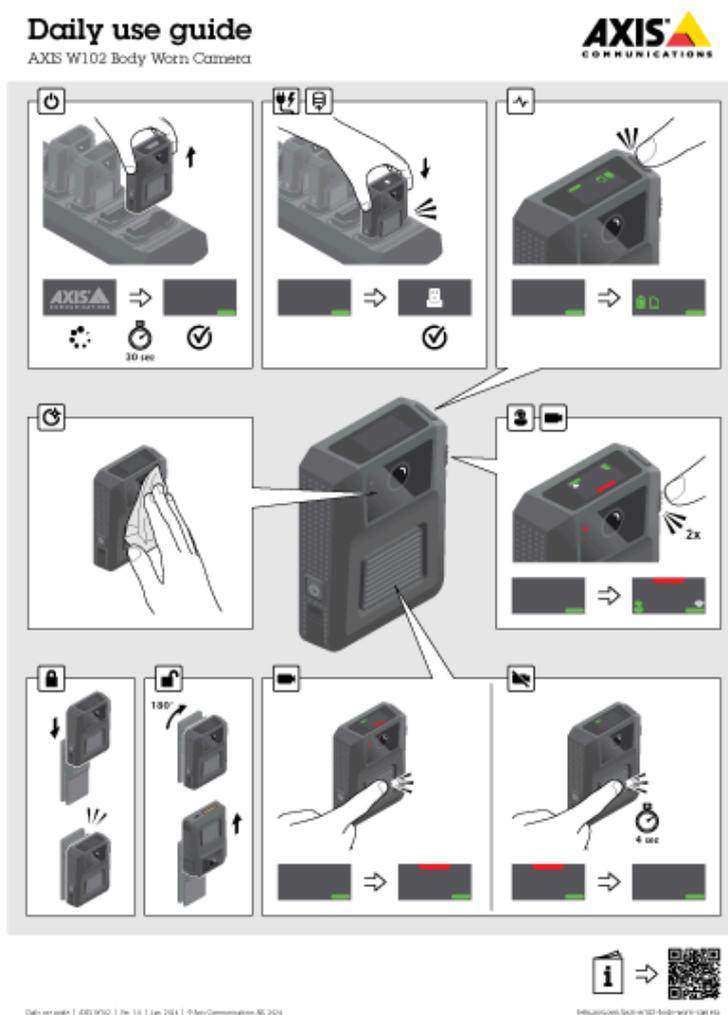
	<ul style="list-style-type: none"> 赤 = ペアリング失敗。
	ホルスターセンサーのバッテリー充電レベル。
  	<p>AXIS Body Worn Assistant接続。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白 = 接続中。 緑 = 接続完了。 赤 = 接続失敗、またはタイムアウト。
 	<p>装着式ミニセンサー接続。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑 = 接続完了。 赤 = エラー。
	マイクがオフになっている。
   	<p>AXIS Body Worn Live接続。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白枠 = リモートストリーム起動準備完了。 緑 = 接続完了。 赤 = 接続失敗。 青 = ストリーム準備完了 (セルフホストのみ)。
 	<p>GPS座標。</p> <p>GPS位置のインジケータで、GPS位置がないことを示しています。</p>
   	<p>Wi-Fi®接続。</p> <p>電波強度、Wi-Fiオフ、Wi-Fi信号検索中、エラーを表示します。</p>

日常的な使用

目的のアクション	必要なアクション	情報
カメラを有効にする	電源ボタンを押します。	カメラの高速振動とビーブ音。起動中、AXIS Communicationsのロゴが表示されます。カメラが使用可能な状態になると、ステータスLEDが緑色に変わります。設定により、これには最長で30秒かかります。
カメラをオフにする	電源ボタンを5秒以上押し続けます。	カメラの高速振動とビーブ音。
録画の開始	録画ボタンを1回押します。 これは、AXIS Body Worn Managerで設定可能です。	録画が開始されると、カメラが振動してビーブ音が鳴り、前面の録画インジケータと録画LEDがオンになります。 これは、AXIS Body Worn Managerで設定可能です。
録画停止	録画ボタンを3秒以上押し続けます。	録画を停止すると、カメラの高速振動とビーブ音が鳴ります。
ライブストリームの開始	機能ボタンを2回押します。	詳細については、AXIS Body Worn Liveユーザーマニュアルを参照してください。
ライブストリームの停止	録画ボタンを3秒以上押し続けます。	
ブックマークの作成	録画中に録画ボタンを1回押します。	この機能は、使用しているコンテンツ送信先がサポートしている場合に使用できます。詳しくは、ブックマークを参照してください。
マイクをオフにする (デフォルトでは音声オン)	機能ボタンを3秒以上押し続けます。	マイクアイコンがオンになります。
マイクをオンにする	機能ボタンを3秒以上押し続けます。	マイクアイコンがオフになります。
サイレントモードをオンにする	トップボタンを3秒以上押し続けます。	ディスプレイ、前面の録画インジケータ、ビーブ音、振動がオフになります。
サイレントモードをオフにする	トップボタンを少なくとも3秒間押し続けます。	ディスプレイ、前面の録画インジケータ、ビーブ音、振動がオンになります。
バッテリー残量を確認します。	トップボタンを押し、ディスプレイでバッテリーの充電レベルを確認します。	緑色：>残り1時間 黄色：残り0.5~1時間 赤色：残り0~0.5時間

<p>ストレージの残りの容量を確認します</p>	<p>トップボタンを押し、ディスプレイで使用されているローカルストレージの容量を確認します。</p>	<p>緑色：>録画残り1時間 黄色：録画残り0.5~1時間 赤色：録画残り0~0.5時間</p>
<p>カメラに割り当てられているユーザーを確認する</p>	<p>トップボタンを押し、割り当てられているユーザーをディスプレイで確認します。</p>	<p>ユーザー名およびID。</p>

カメラのサポートページから日常使用ガイドをダウンロードして印刷し、カメラユーザーの日常業務に役立ててください。



日常使用ガイド



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

シフトの開始

新規のシフトを開始する前に、いくつかの確認を行うことが推奨されています。

- カメラをドッキング解除する前に、ユーザー名が表示されていることを確認してください。これはバッテリーが充電され、すべてのファイルが転送され、ソフトウェアが最新の状態であることを示します。
- 自己割り当てによるカメラの割り当てを使用している場合は、RFIDリーダーで自己割り当てタグをタップします。自己割り当て済みカメラのディスプレイが緑色に点灯し、ユーザー名を表示し、ドッキング解除の準備ができていることを示します。カメラのドッキング解除は自己割り当てタグをタップしてから15秒以内に行う必要があります。カメラの自己割り当てを行えるのは、一度に1人のユーザーのみです。
- カメラをホルスターセンサーに接続する場合は、カメラをドッキング解除してから10分以内に、ホルスターセンサーがカメラの範囲内にあることを確認してください。通常の場合、範囲は5～10 m (16～33フィート) です。
- カメラのドッキングを解除すると、カメラが再起動します。設定もよりますが、再起動には最長40秒かかり、その後カメラの使用準備が整います。
- 乾いた研磨剤のない布を使用して、レンズウィンドウを拭きます。その他のクリーニングの推奨については、清掃を参照してください。
- 必要に応じてAXIS Body Worn Assistantのライブビューを使用してカメラの画像を確認し、カメラが正しく動作しているか、カメラの向きに問題がないかを確認します。詳細については、身体装着型ソリューションマニュアルでAXIS Body Worn Assistantを参照してください。

シフトの終了

重要

シフト後は常に装着式カメラをドッキングします。これにより以下が保証されます:

- カメラのバッテリーは次のシフトの前に充電されている
- すべてのコンテンツがシステムコントローラーにアップロードされる
- カメラのソフトウェアが最新である
- ユーザー構成とカメラ設定がシステムに同期されている
- カメラをドッキングすると、カメラが再起動します。カメラが正しくドッキングされていることを確認するために、ディスプレイが再び表示されるまでさらに10秒待ちます。
- 消耗したバッテリーを完全に充電するのにかかる時間は、充電する環境の温度によって異なります。詳細については、データシートをご確認ください。
- 録画されたビデオをアップロードする時間は条件で異なります。たとえば、録画映像の12時間は、録画映像のビットレートに応じて、システムコントローラーへのアップロードに約30分間かかる場合があります。

バッテリーの状態

製品の寿命を通して最適なバッテリー容量を確保するため、通常の使用に従って以下の推奨事項に従ってください。

注意

- カメラは必ず、製品のデータシートに明記されている動作温度範囲内でご使用ください。指定された温度範囲外でカメラを使用すると、バッテリーが損傷します。
- カメラの充電は必ず、製品のデータシートに明記されている充電温度範囲内で行ってください。指定された温度範囲外でカメラを充電すると、バッテリーが損傷します。
- カメラを車の中に放置しないでください。駐車中の自動車の温度は、指定された温度範囲を超える場合があります。
- バッテリー残量が少ない状態でオフになっているカメラは、できるだけ早く充電してください。バッテリーは時間の経過とともに放電するため、予想されるバッテリー寿命が短くなります。
- カメラを45日以上充電しないでください。バッテリーの予想寿命が短くなる可能性があります。

製品の耐用年数を通して最適なバッテリー容量を確保するには、保管に関する以下の推奨事項に従ってください。

注意

- カメラを保管する前に必ず、AXIS Body Worn Managerを使用して装着式システムからカメラを取り外してください。システムからカメラを取り外すと、カメラは配送モードになり、バッテリーレベルが正常に保たれます。
- カメラは必ず、製品のデータシートに明記されている保管温度範囲内で保管してください。推奨温度は、短期保管(3か月未満)と長期保管(3か月以上)で異なります。指定された温度範囲外でカメラを保管すると、バッテリーが損傷します。
- バッテリーを完全に充電した状態でカメラを保管しないでください。バッテリーの予想寿命が短くなります。
- バッテリー残量がない状態でカメラを保管しないでください。バッテリーの予想寿命が短くなります。
- 3か月以上保管する場合は、3か月ごとに充電してください。
- カメラを湿気の多い環境で保管しないでください。バッテリーの放電率が上がる可能性があります。
- バッテリーを放電させて再度充電するには、少なくとも年に1回はカメラを使用してください。これにより、バッテリーを活性化させ、エネルギーを回復させることができます。

バッテリーの状態の詳細については、axis.com/learning/white-papers/にアクセスし、Battery health in body worn cameras (装着式カメラのバッテリーの状態)を検索して、見つかったホワイトペーパーを参照してください。

バッテリーを交換する

AXIS TW1906 Battery Kit 5Pを使用して、装着式カメラのバッテリーを交換することができます。バッテリーを交換する前に、AXIS TW1906 Battery Kit 5Pサポートページに記載されているインストールガイドをお読みください。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

重要

- バッテリーを交換する際は、静電放電 (ESD) の発生を避けるための予防措置を講じてください。
- 3年間の保証期間中は、3.7V ID1058バッテリーを交換しないでください。Axis (またはAxisに代わるRMA/パートナー) 以外が3年間の保証期間中にバッテリーの交換を行った場合、メインアイテムの保証は無効になります。バッテリーやサービスに関連事項については、Axisサポートまたは販売店にお問い合わせください。

清掃

カメラの清掃

- 研磨剤のない、溶剤を含まない中性石鹼または洗剤を水と共に使用します。
- 柔らかいマイクロファイバーの布、または湿った非研磨スポンジを使用してください。
- ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布で拭いて乾かします。

注意

- 素材の劣化を防ぐために、ガソリン、ベンゼン、アセトンなどの刺激の強い洗剤は絶対に使用しないでください。
- カメラのクリーニングに研磨剤を使用しないでください。
- 腐食や接続不良を引き起こすため、ドッキングコネクタに洗剤を含んだ水は絶対に使用しないでください。

カメラの除菌

- カメラの外側の表面には、最大50%のイソプロピルアルコールを含む除菌製品を使用してください。
- 柔らかいマイクロファイバーの布、または非研磨スポンジで塗布します。

ドッキングステーションの清掃

ドッキングステーション外部の表面の清掃は、次のように行います。

- 研磨剤のない、溶剤を含まない中性石鹼または洗剤を水と共に使用します。
- 柔らかいマイクロファイバーの布、または湿った非研磨スポンジを使用してください。
- ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布で拭いて乾かします。

ドッキングベイの内部を清掃するには、次のようにします。

- 電子部品向けのアダスターを使用して、ポゴピンの間や周りの埃を清掃します。
- 乾いた布を使用して、ポゴピンを慎重に清掃します。
- 清掃後、すべてのポゴピンが上の位置に戻っているのを確認します。

注意

- 素材の劣化を防ぐために、ガソリン、ベンゼン、アセトンなどの刺激の強い洗剤は絶対に使用しないでください。
- ドッキングステーションの清掃に研磨剤を使用しないでください。
- 腐食や接続不良を引き起こすため、ドッキングベイ内部のポゴピンに洗剤を含んだ水は絶対に使用しないでください。

カメラの充電

身体装着式カメラを充電する際は、必ず次の機器を使用してください。

- 互換性のあるAxis docking station

- 5VDC出力の携帯電話チャージャー
- 5VDC出力バッテリー

動作時間

動作時間は、装着式カメラの使用方法によって異なります。動作時間の制限要因としては、バッテリー容量とストレージ容量があります。これらはそれぞれ消費電力と録画ビットレートの影響を受けます。

注意

充電時周囲温度が35° C (95° F) を超える場合、バッテリーはフル充電の70%までしか充電されず、稼働時間も大幅に短くなります。

消費電力を増加させる要因は次のとおりです:

位置データ - カメラのポジショニングシステムがオンになっている場合。

ワイヤレス接続 - AXIS Body Worn Live、AXIS Body Worn Assistantを使用している場合、またはブロードキャストをオンにしている場合。

センサーカメラ - センサーカメラを装着式カメラに接続しているとき。

屋外用 - カメラを屋外で使用すると、LEDディスプレイの強度が高くなり、消費電力が増加します。

気温 - +25° C (77° F) が最適な動作温度です。これを上回る、または下回る温度でのカメラの使用は、バッテリー容量に影響します。

動きあり - シーン内での動きの増加、またはカメラの動き。カメラプロセッサは、シーン内での動きに応じて電力を使用します。

画像解像度 - 高い録画解像度。

電子動体ブレ補正 - 電子動体ブレ補正をオンにしている場合。

たる型歪曲の補正 - 画質を720pに設定して、たる型歪曲の補正をオンにした場合。

消費電力を削減する要因は次のとおりです。

Standby mode (スタンバイモード) - スタンバイモードがオンになっている場合。

録画のビットレートを増加させる要因は次のとおりです:

動きあり - シーン内での動きの増加、またはカメラの動き。

画像解像度 - 高い録画解像度。

ライト - 低光量は、画像のノイズを増大します。

撮影シーンの複雑さ - 一般的なオフィスなど、被写体と色がほとんどないシーンでは、より複雑なシーンよりもビットレートが低くなります。

トラブルシューティング

装着式カメラエラーフィードバック

装着式カメラのフィードバックを使用して、さまざまなエラーを特定します。以下の表に、カメラのさまざまな動作、その意味、問題の解決方法を示します。

挙動	その意味	対処法
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン：静止 	ストレージエラー。カメラが動作していない。	カメラを交換してください。
カメラがドッキングされている:		
<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイは黒です。 	ユーザーがカメラに割り当てられていません。	<ul style="list-style-type: none"> 固定のカメラ割り当てを使用している場合は、1人のユーザーをカメラに割り当てます。カメラへのユーザーの割り当てを参照してください。 カメラ割り当てで、カメラの自己割り当てを使用している場合、カメラが自己割り当て可能であることを意味します。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン：点滅 	カメラが装着式システムに追加されていません。	カメラを装着式システムに追加する手順については、カメラの追加を参照してください。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン：静止 	一般的なエラー。	一般的なトラブルシューティングの手順を試してください。問題が解決しない場合は、 axis.com/support を参照してください。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン：静止 	システムコントローラーへの接続が失われました。	装着式カメラとドッキングステーションの間の接続を確認してください。ドッキングステーションとシステムコントローラー間の接続を確認してください。システムコントローラーが正常に設定されていることを確認します。ダッシュボードを参照してください。
 <ul style="list-style-type: none"> アイコン：点滅 ビープ音：連続 	バッテリーが充電されていません。	一般的なトラブルシューティングの手順を試してください。問題が解決しない場合は、 axis.com/support を参照してください。
カメラのドッキングが外れている:		
<ul style="list-style-type: none"> フィードバックはありません。 カメラが起動しません。 	カメラが配送モードになっています。 ¹	カメラを装着式システムに追加する手順については、カメラの追加を参照してください。
	カメラの電池が消耗しています。	カメラを充電します (カメラの充電を参照)。

1. 装着式カメラは、ドッキングして装着式システムに追加されるまでは配送モードとなります。配送モードは運輸とストレージに使用される省電力モードです。

挙動	その意味	対処法
		<p>前述の方法で解決しない場合は、次の通りにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カメラの電源ボタンを4秒間長押しします。 2. カメラをドッキングし、充電が完了するまで待ちます。 3. カメラのドッキングを解除し、カメラが再起動するのを待ちます。 <p>または、ドッキングステーションにアクセスできない場合は、次の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カメラの電源ボタンを4秒間長押しします。 2. USB充電器を使用してカメラを充電します。カメラの充電を参照してください。
 <ul style="list-style-type: none"> • アイコン：静止 • ビープ音：短い音2回、長い音1回 • バズ音：短い音2回、長い音1回 	録画できない、SWエラー、またはその他の動作エラー。	一般的なトラブルシューティングの手順を試してください。問題が解決しない場合は、 axis.com/support を参照してください。
 <ul style="list-style-type: none"> • アイコン：静止 • ビープ音：2 x 3 • バズ音：2 x 3 	ユーザーがカメラに割り当てられていません。	カメラをドッキングしてユーザーをカメラに割り当てます。カメラへのユーザーの割り当てを参照してください。
 <ul style="list-style-type: none"> • アイコン：静止 • ビープ音：2分おきに1回(定期的)、または1分おきに3回(定期的に強まる) • バズ音：2分おきに1回(定期的)、または1分おきに3回(定期的に強まる) 	バッテリー残量がもうすぐなくなります。	<p>この動作は、カメラプロファイル設定の [Low battery warning (バッテリー残量低下警告)] が、[Periodic (定期的)] または [Periodic reinforced (定期に強まる)] に設定されている場合にのみ発生します。</p> <p>カメラの充電が必要です。</p> <p>カメラがドッキングステーションに置かれている場合は、正しくドッキングされていることを確認してください。</p>
 <ul style="list-style-type: none"> • アイコン：静止 	ストレージがいっぱいで、録画ができない。	カメラをドッキングして、録画をオフロードします。

挙動	その意味	対処法
<ul style="list-style-type: none"> ・ ビープ音：短い音2回、長い音1回 ・ バズ音：短い音2回、長い音1回 		
 <ul style="list-style-type: none"> ・ アイコン：静止 	Wi-Fiに接続できません。	考えられる理由は複数あります。 AXIS Body Worn Liveのユーザーマニュアルをご確認ください。
 <ul style="list-style-type: none"> ・ アイコン：静止 	モバイル接続ネットワークに接続できません。	考えられる理由は複数あります。 AXIS Body Worn Liveのユーザーマニュアルをご確認ください。

カメラの損傷

カメラが破損していても内部ストレージが損傷していない場合は、録画内容を復元できます。手順については、破損したカメラから録画を復元するを参照してください。

T10205586_ja

2026-02 (M5.2)

© 2024 – 2026 Axis Communications AB